おやすみの前・お出かけの前には火の元を確認

火の用心

卓上コンロ使用時は、一酸化炭素中毒にご注意を

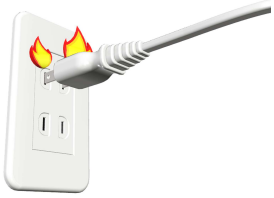
冬から春は空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節

消防庁の統計によると、年平均の総出火件数は全国で3万6516件（1日あたり約100件）年平均の死者数は1,436人です。

住宅を含む建物火災は2万0212件です。出火原因でもっとも多いのはコンロで2,740件、次いでタバコが1,881件、配線器具が1,206件、ストーブが1,055件の順。 放火（疑いを含む）は毎年約4,000件発生し、約300人が亡くなっています。

2019年～2023年（5年間）の年平均で掲載しています。
（数値出典：https://www.fdma.go.jp/pressrelease/statistics/｜総務省消防庁）

火災の4件に3件は　失火によるもの



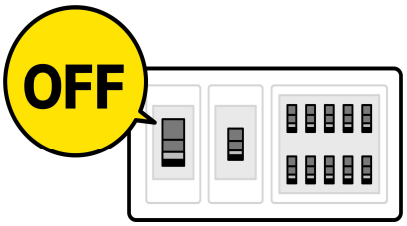
時々コンセント内のホコリを掃除機で吸い取る。

コンセント1箇所へ流せる電流の目安は15Aまで。
※20Aの住宅もあります。

家の周囲に燃えやすいものを置かない。指定日以外にゴミを出さない。

火災報知機は10年で交換。

詳しくは消防庁ＨＰへ



地震火災の約半数は電気機器が原因です。（通電火災）

地震火災を防ぐ啓発動画（ダイジェスト版）

火災の怖さは複数の死傷者が発生したり、近隣への被害も少なくないことです。